

新規事業採択時評価結果（平成15年度新規事業化箇所）

事業名 東北中央自動車道山形上山IC関連 一般国道13号 上山バイパス（延伸）	事業区分 一般国道	事業主体 国土交通省 東北地方整備局
起終点 自：山形県南陽市川樋 至：山形県上市市中山	延長 3.0 km	

事業概要

一般国道13号は福島市から秋田市に至る総延長約350kmの主要幹線道路で、山形市、湯沢市等の内陸に連担する主要都市間を結ぶ重要な路線である。
 上山バイパスは東北中央自動車道の山形上山ICへのアクセス性向上及び関連する一般国道13号の上市市内の交通混雑の解消を目的とした、延長14.2kmの4車線道路である。

事業の目的、必要性

上山バイパスの延伸である本区間は、1次改築のままであり狭小幅員、急カーブ等の道路構造の問題に加え、現況交通量においても混雑度が2.21と交通混雑が著しい状況である。
 また、事故多発地帯であり、事故率も258人/億台*と高く、冬期は運搬排雪区間(L=300m)がある等、早急な沿道環境の改善が必要である。

全体事業費 100億円	計画交通量 18,400台/日
費用便益比 B/C 5.1	総費用 91億円 （事業費：81億円 維持管理費：10億円）
総便益 461億円 （走行時間短縮便益：431億円 走行費用減少便益：29億円 交通事故減少便益：1億円）	基準年 平成15年

事業の効果等

- ・都市圏の交通円滑化の推進（現道の混雑度が2.0以上が緩和される）
- ・地域づくりの支援（山形テクノポリス計画、山形地域集積促進計画（頭脳立地計画））
- ・安全な生活環境の確保（現道の交通事故死傷率が250人/億台*以上（258人/億台*））などの他2項目

関係する地方公共団体等の意見

・上山バイパスの事業延伸は、渋滞解消及び沿道環境の改善が必要なことから、一般国道13号南陽上山間整備促進南陽市期成同盟会による整備促進の要望（平成14年11月）を受けている。

事業概要図

